

メルマガ「材料証明Vol.03」コンテンツ一覧

該当ページ	コンテンツ
2	【ワンポイント情報】委員会審議から証明書発行までについて
3	【証明事例】強度関連（その1）
4～6	【開催報告】GBRC材料技術セミナー

GBRC 性能評定課の業務に対する皆様のご意見やご感想をお聞かせ下さい

メールサービスで取り上げた内容やGBRC 性能評定課の業務に対する
皆様のご意見やご感想をお待ちしております。

お送り下さいましたご意見やご感想は、今後の業務の品質向上に役立てさせていただきます。

- ☒ ご質問・ご感想はこちらへお送り下さい：seinou3@gbrc.or.jp
- ☒ メルマガ配信の新規ご登録はこちらから：<https://www.gbrc.or.jp/mailservice/>

材料証明に関するメルマガ情報定期便「材料証明」配信中！

GBRCのHPからバックナンバーもご覧頂けます。

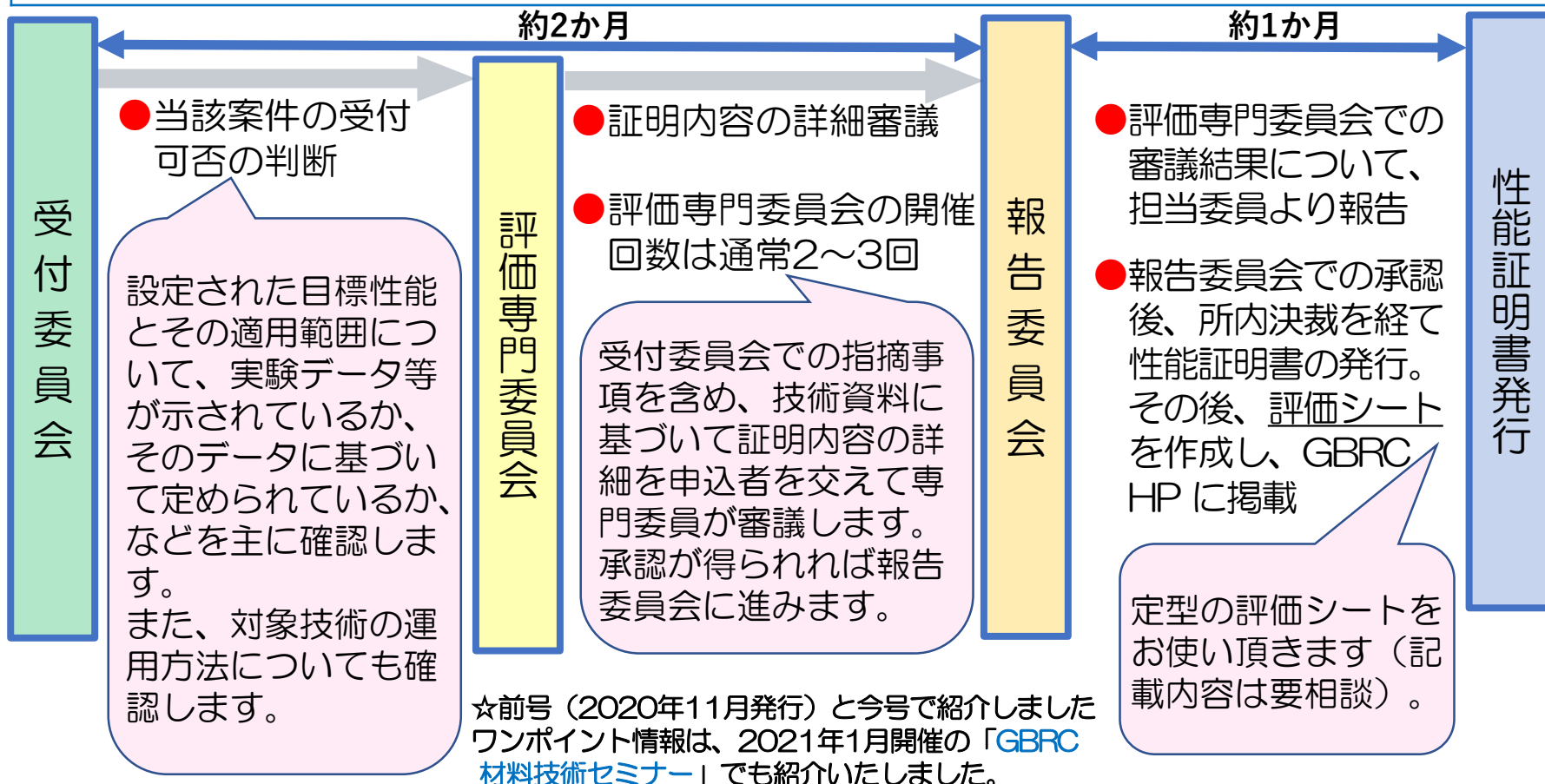
https://www.gbrc.or.jp/building_confirm/kentikuzairyo_shomei/zai_shomei_mail/

※コンクリートの性能評価などに関するメルマガ情報定期便「材料（コンクリート）」も併せて配信中です。

バックナンバーは📧https://www.gbrc.or.jp/building_confirm/kentiku_kijyun37/zai_mail/

【ワンポイント情報】委員会審議から証明書発行までについて

前号でも紹介しました事前相談と調整の段階で作成された各種資料（説明資料やマニュアルなど）に加え、プレゼン用資料（パワポなどで作成）をご提出の上、受付委員会にご出席下さい。その後、評価専門委員会での審議を経て、報告委員会（申込者の出席は不要）で承認されると性能証明書が発行されます。



【証明事例】強度関連（その1）

『コンクリート強度に関連した各種取組み』

証明内容の ポイント

「推定・評価・試験 / 合理化・省力化」

材料証明 第19-01 コンパクト化法によるマスコンクリートの
構造体強度補正值迅速評価システム

☞ 【合理化】構造体強度・構造体強度補正值（S値）の迅速推定

性能証明 第17-01 UCI法を用いたコンクリートの強度物性評価システム

☞ 【合理化】強度・静弾性係数の推定

性能証明 第14-15 スマートセンサ型枠システム

— コンクリート表面温度計測による強度推定システム —

☞ 【合理化】温度履歴に基づく若材齢コンクリートの強度推定

性能証明 第09-34 直径80mm高さ160mmの供試体を用いる

コンクリートの圧縮強度試験方法

☞ 【省力化】4/5スケール供試体による試験方法

※それぞれの証明内容については、「**評価シート**」として閲覧できるように
HP上で公開していますので、ご興味があれば当法人のHPからご覧下さい。

(https://www.gbrc.or.jp/building_confirm/kentikuzairyo_shomei/list/)

<スマートセンサ型枠システム

— コンクリート表面温度計測による強度推定システム —

GBRC性能証明 第14-15号 評価シートより

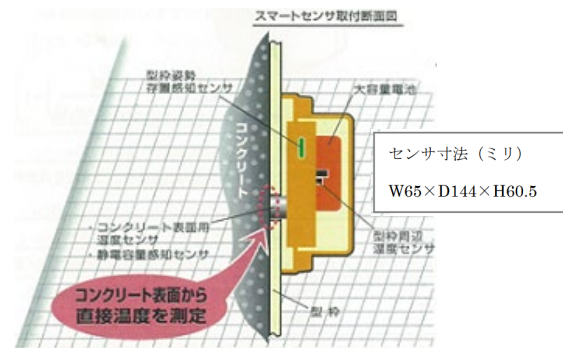


図-1 スマートセンサ型枠 断面図

【技術の概要】

型枠に取り付けたスマートセンサで計測したコンクリートの表面温度の履歴データなどを基に若材齢時のコンクリート強度を推定する技術→適切な型枠存置期間の確保、若材齢のコンクリートの品質確保、合理的な施工管理の実現。

★今回ご紹介しました「**強度**」は、コンクリートの最も基本的な性能の1つですが、その性能を確保するための様々な取組み（推定、評価、試験のほか、管理なども）が古くて新しいテーマとして常に取り上げられています。「**強度**」は重要なテーマでありますので、今号では過去の証明事例を簡単にご紹介しておりますが、今後は、このメルマガでも強度関連をシリーズ化してお伝えできればと考えています。また、強度に関連した新たな取組みなどをご検討されている際は、気軽にお声掛け下さい。

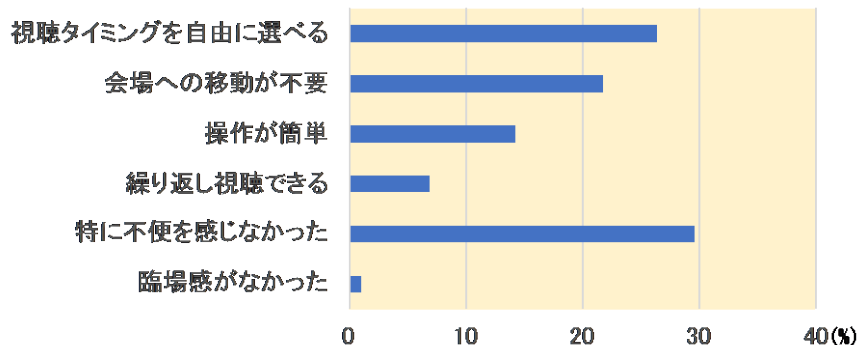
【開催報告】GBRC材料技術セミナー（1 / 2）

セミナーへのご参加
誠にありがとうございました。
アンケート回答の一部を掲載します。

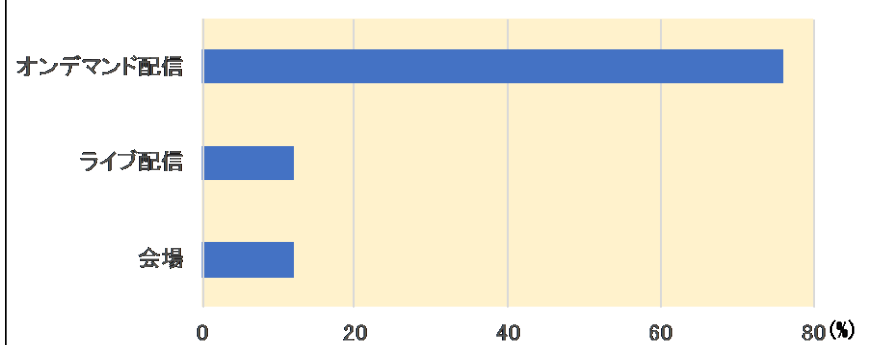
建設材料性能証明について —第三者証明の活用—

- ① 建設材料の証明事業について (GBRC 性能評定課 津平)
- ② 第三者証明の活用およびコンクリート系規格・仕様書・指針の改定の動向 (東京工芸大学 陣内 浩 教授)

Q オンデマンド配信で感じたこと (複数回答可)



Q 今後希望する開催方法 (複数回答可)



(いずれの図もアンケート結果より抜粋。図の横軸は各アンケートの全回答数に対する比率)

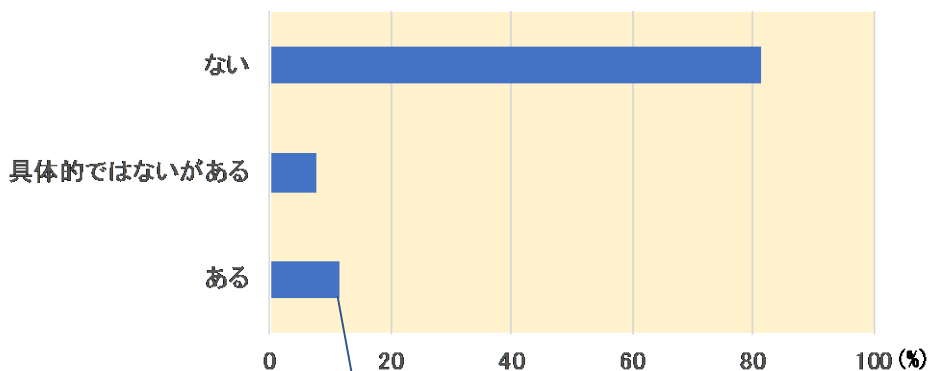
1月12日～29日に開催しました『GBRC材料技術セミナー』では、例年とは異なる開催形式でしたが、多くの方々（約250名）にご視聴頂き、誠にありがとうございました。オンデマンド配信による動画視聴の利便性の良さなど、好意的なお声を多数頂戴しました。

一方で、「人事交流の貴重な場として直接コミュニケーションが取れなくて残念」といった意見も頂きました。

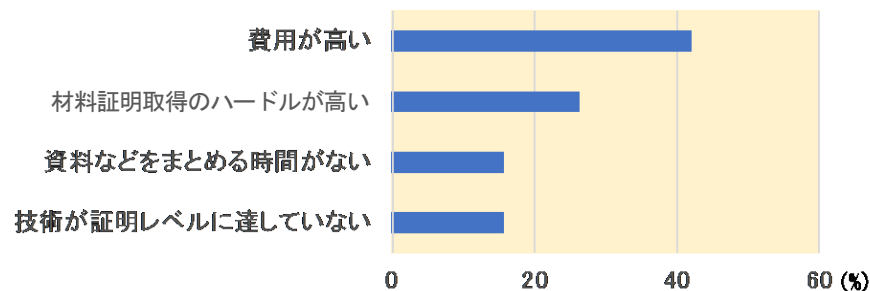
皆様から頂いた貴重なご意見は今後の我々の活動に活かしていきたいと思っております。

【開催報告】GBRC材料技術セミナー（2／2）

Q 材料証明を取得したい技術はあるか



Q 材料証明を取得する際に障壁となるもの
(複数回答可)



(いずれの図もアンケート結果より抜粋。図の横軸は各アンケートの全回答数に対する比率)

新開発の材料・工法、収縮低減、生産性向上に寄与する技術など

今回のセミナーの本題であります材料証明については、新たな技術開発の難しさはあると思いますが、我々GBRCも当該証明事業が果たす社会的な役割や必要性などをさらに発信し続け、皆様の技術開発の後押しができるような事業に繋がりたいと考えております。

併せて、皆様のニーズもしっかりと把握したいと思いますので、証明取得の障壁などを含め、皆様からの忌憚のないご意見・ご要望を頂戴できれば幸いです。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

【開催報告】GBRC材料技術セミナー（参考）

アンケート回答で頂いた自由記述の一部を紹介します。

※プログラム名：第三者証明の活用およびコンクリート系規格・仕様書・指針の改定の動向（陣内先生ご講演）

建築基準関係法令などの丁寧な解説、若手従業員含め有用な内容であったと思います。また、JASS 5の動向についても新聞・雑誌などで記載されている以上のものがあり、非常に勉強になりました。（生コン製造者、40代 男性）

※プログラム名：建設材料の証明事業について

建設性能証明取得について、丁寧な説明をいただき、取得未経験者にもわかりやすく、良かった。また、「規格・仕様書・指針」の動向も知ることができ、有意義でした。（ゼネコン、60代 男性）

※セミナーの開催形式について

オンデマンド形式は、聞き逃した場合などはリピートして再聴講でき有難い。今回の方式は、移動などで時間を拘束されない所も良かったと思う。（セメント生産者、50代 男性）

【参加者からのご要望】

アンケートに寄せられた質疑は公開してもらえますか？

Ans. 配信動画の繰り返し視聴などの利便性が高まり、疑問が解消されるケースが増えたこともあったのかもしれませんが、これまでの集合形式開催の場合とは異なり、参加者から頂戴したご質問はほぼなく、質疑を共有するには至りませんでした。

ただ、質疑の公開・共有という貴重なご意見を頂きましたので、これを真摯に受け止め、今後対応して参りたいと考えております。

ご要望、ありがとうございました。

【編集後記】

Web会議アプリの利用促進がなされるようになってもう少しで1年が経とうとしています。コロナウイルス流行の最初期は、Teams? Zoom? といった世間の印象でしたが、いまではすっかり打合せ手段としてWeb会議アプリも浸透しております(慣れとは恐ろしいものですね)。当法人の委員会も原則Web会議アプリを用いた開催となっております。申込者の方々にはご負担をお掛けしている所があるかと思いますが、何卒ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

発行者:一般財団法人 日本建築総合試験所
建築確認評定センター 性能評定課 材料グループ
担当者:荒井、坂本、津平、永田
TEL:06(6966)7600 FAX:06(6966)7680
E-mail:seinou3@gbrc.or.jp

©ILLUST BOX